



SHIKA-CHU IB Journey

鹿追中学校国際バカロレア通信



鹿追町立鹿追中学校
IBCO 奥平 和也
2025.7.3 Vol.31

家族、見つかりました

前号でお伝えしました「迷い猫」の件、**無事に見つかりました！**近所の小学生が物置に潜んでいた当該猫を見事発見し、無事に飼い主の元へかえしてくれたとのことでした。よかった！
猫一匹逃がさない。Team鹿追、さすがです。そしてご心配いただいたみなさま、ありがとうございました。

PTA組織委員会視察研修

6月13日、本校と二人三脚でIBの認定を目指している「鹿追町立瓜幕中学校」で授業公開Weekを行うということで、本校PTA組織委員会の保護者4名と教員2名で授業の視察に行かせていただきました。

当日の授業の様子はこちらです。→ ([リンク](#))

瓜幕中学校の教頭先生、この様にユーモアを交えつつほとんど毎日更新で授業の様子を投稿していらっしゃいます。脱帽です。鹿中でもできたら良いのかもしれませんが、とりあえず私にはとてもとても真似できません。

そんなわけで良ければ時折、瓜中の記事をチェックください。その際、「鹿中の授業もきつとこんな感じなのね！」と重ねてご覧いただければと思います（笑）。前述の通り目標を同じく、二人三脚でやらせてもらってますので、鹿中でも大体同じ実践をやっています。

さて、授業を見させていただいた後にはお忙しい中瓜幕中のIBコーディネイターの穂山先生。大学でIBを学び、更にIB校での指導経験をお持ちである丸谷先生にもご参加をいただいた上で、参加された保護者のみなさまからのご質問やご意見にお答えしていく形式で座談会を行いました。

授業参観、座談会とも大変に有意義なものとなりました。

それは私から説明するより、参加された**保護者のみなさまからの素晴らしい感想を読んでもいただければ一目瞭然**かと思います。許可をいただきましたので、そのまま掲載させていただきます。

Aさん

先日はお疲れ様でした。私が受けてきた受け身のみの授業とは違い、1つの課題に対して色々な方向から考える、ぼーっと窓の外を眺めて時間をやり過ごす子がない（少人数という事もあるかもしれませんが。）、という印象でした。ぼーっと時間をやり過ごしてきた私としては、こういった授業のあり方が勉強が苦手な子にも選択肢が増える可能性があるのかな、あればいいなと心の底から思いました。

そして、鹿追の子達の高校の進学先は主に十勝管内かと思われます。国際的な教育を受けてきた子達、多様性のあり方を学んだ子達がぶつかる昔ながらの教育にどう対応していくのか、という課題があるのかなと思いました。受験だけではなく、勉強だけではなく、考え方、一個人のあり方、全てが覆されてしまうのではないかなと思いました。その先の大学、就職。少子化だからこそ一人一人の力を底上げしたい今、変わらなきゃいけないのは大人なんだと改めて気付かされました。

Sさん

生徒ひとりひとりがより主体性を持って授業に取り組むことで協調性や想像力と創造力そして物事に対する探究心などが育まれていく、瓜幕中学校さんのIB教育の実践を目の当たりにし私自身もたいへん興味深く考えるきっかけとなりました。先生に当てられたら答える、と言った授業環境を過ごしてきた（それがよかったのか悪かったのかを言及するつもりはありません）私からすると今日の教育の性質自体がより高次元（あるいは『現代的』と表現するのが適当でしょうか）なものであると驚きの念を禁じ得ません。こうした教育プログラムの中で、自分の子どもたちも

自身のアイデンティティを大切に、そして周りの多様性も尊重出来る人間に育って
いって欲しいと思いました。

Fさん

授業の内容を考える先生達の努力は大変なものだと感じました。生徒の興味を惹くような内容、生徒同士意見交換する環境設定など工夫をされていました。IB教育と言われ子供が3年生となりましたが、私はどんな教育方法か理解できていませんでしたが、機会があれば生徒自身が地域の人達に自分たちの体験等を通してIB教育の素晴らしさを発信しても良いのではないかと思います。大学で習うようなハイレベルの事をやっているなんて、すごいです！

Nさん

先日は瓜幕中学校での授業を見学させていただき、ありがとうございました。まず、なかなか瓜幕中学校へ行く機会がなく、子どもの頃から鹿追にいるのに、初めて入れたことに感激しました。

各学年の授業を見学する中、少人数制の特性を活かし、より1人1人が課題に取り組む姿が見受けられました。鹿追中学校でも、クラスを半分にして交互に授業を受けていますが、より生徒たちの理解度を把握することに適していると思われました。

IBの取り組みを知ってから3年目になりますが、難しい言葉などは未だに分からないところも多々あります。ただ、一貫して言えることは、これからの時代、社会を生きていく子どもたちにとって、欠かせない教育だと感じていることです。私自身、今

からでも受けられないものかと、大変興味を持っています。 分からない課題、もしくは更に掘り下げて調べたい事象がある、これについて自ら答えを探していく、そのために必要なツールを駆使し、どのように導き出すかを試行錯誤する。先生という指導者がいて、上手いかなかったとしても、次へのステップにすれば良い。社会に出る前の学校の授業で、これを経験出来ることは、本当に有意義なことだと思います。正直、今の子どもたちが羨ましいですw

座談会の時にも、勉強に限らず「探究的な学び」は、全てのことに繋がっていると感じました。生活していく上で、これから仕事をしていく上で、もちろん趣味を充実させる上でも。中には、学力の低下や受験対策に、不安を持たれる方もいると思います。しかし、私はその逆で、この取り組みを知れば知るほど、そういった心配がなくなって来ました。先生方も言われてましたが、要はスイッチが入るか入らないかは『本人次第』なんだと。ウチの子を見てると、心の底からそう思います。IBの取り組み自体で、学力が左右されることはなく、むしろ分からない課題について、アクセスする手段を備えている分、自身に合った勉強方法確立しやすくなるのではないのでしょうか。受験という大きな壁に焦点がいきがちですが、長い目で見た時、困難なことにも立ち向かえる人間として、確実に成長していると私は感じています。そして、この様な環境を創り出してもらっている、先生方の日々の努力に感謝です。 まとまりがなく、長い文章になってしまい、すみませんでした。

最後に、今後もし先生方に余裕があれば、IB体験会（ワークショップ）の様な会を、保護者に向けてやっていただけないでしょうか？何となく言葉で聞いててもピンと来ないけど、子どもたちが取り組んでいる疑似体験？的なことしたら、伝わる

のではないのかと。ぜひ私は参加してみたいですし、もちろん開催するのであればお手伝いします。1人でも多くの方に、鹿追・瓜幕中学校の取り組みが伝われば素敵だなと思い、締めさせていただきます。最後まで読んでくださり、ありがとうございました。

今回、そして昨年度も本校で保護者をお招きしての座談会をさせていただきましたが、いつも感心させられるのは保護者のみなさまが子どもたちの学校での様子だけでなく、**「今の教育」についてもこれほど深く考えてくださっているのだ。ということです。**

胸が熱くなります。そのような素晴らしい保護者のみなさまが、本町が目指す学びのあり方や子どもたちの成長について、真剣に、そして温かい眼差しで見守ってくださっていることを実感し、私たち教職員も改めて身が引き締まる思いです。

皆様の熱い思いに応えられるよう、これからも子どもたち一人ひとりの可能性を最大限に引き出し、健やかな成長をサポートしてまいります。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

バックナンバー2024	概要
<u>鹿中 IB 通信NO.1</u> ↑クリックするとアクセスできます。	この通信の趣旨や国際バカロレアとは何か？について書いています。
<u>鹿中 IB 通信NO.2</u>	年度当初に行った生徒向けの IB オリエンテーションについて書いています。当日の動画や資料も見られます。
<u>鹿中 IB 通信NO.3</u>	こちらは保護者向けの IB オリエンテーションと、同日行われた参観授業（国語）を IB 視点で解説しています。
<u>鹿中 IB 通信NO.4</u>	参観授業紹介第二弾です。理科の授業の内容を《概念》と絡めて書いています。
<u>鹿中 IB 通信NO.5</u>	参観授業紹介ラストです。社会と保健体育の授業の内容から《IB で知識の定着にかかる時間が減る問題》に対する工夫について紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO.6</u>	IB 教育の大きな柱である ATL スキルと 10 の学習者像とはこういったものかについて、道徳の授業実践を元に解説しています。

<u>鹿中 IB 通信 NO,7</u>	十勝毎日新聞の記事になったというお話と、1 学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,8</u>	子どもたちが「総括的評価課題」に取り組む様子の紹介と、2 学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,9</u>	「SA」「CP」についての説明の前段としてのお話と、3 学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,10</u>	「SA」についての具体的な説明や生徒たちの夏休みの宿題について書いています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,11</u>	「コンサルタント訪問」についての説明や面談に向けての生徒や保護者のみなさまとのやりとりについて書いています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,12</u>	「コンサルタント訪問」の実際の中身と主に生徒たちの面談での応答について紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,13</u>	「文化祭と日常の学びの繋がり」について書いています。《前編》
<u>鹿中 IB 通信 NO,14</u>	「文化祭と日常の学びの繋がり」について書いています。《後編》

<u>鹿中 IB 通信 NO,15</u>	「コミュニティプロジェクト」についての説明と発表会の告知をしています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,16</u>	2 学年の総合的な学習の時間「未来への提案」の内容と目的について紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,17</u>	保護者懇談会の中身と生徒の総括的評価課題の成果物について紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,18</u>	2 学年の総合的な学習の時間「自分探究プロジェクト」の内容と目的について紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,19</u>	2 学年の総合的な学習の時間「未来への提案」の発表会のお知らせをしています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,20</u>	「未来への提案」の発表会の動画と、「総合的な学習の時間と各教科学びの繋がり」について書いています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,21</u>	「自分探究プロジェクト」の実践のひとつについてのご紹介と関係するイベントの告知をしています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,22</u>	IB に関する PTA 保護者のみなさまとの座談会の模様についてご紹介をしています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,23</u>	コンサルティング終了と認定に関しての取組について書いています。

<u>鹿中 IB 通信 NO,24</u>	実際に鹿追中学校が認定されたらどうなるのかについて書いています。
---------------------------------------	----------------------------------

バックナンバー2025	概要
<u>鹿中 IB 通信 NO,25</u>	この通信の主旨や既習事項のリサイクルについて書いています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,26</u>	2025 年度の IB 概要説明（生徒向け）の模様について書いています。当日の資料や動画もご覧いただけます。
<u>鹿中 IB 通信 NO,27</u>	本校生徒の活躍の一コマと、6月から始動する総合的な学習の時間「自分探究プロジェクト」と「コミュニティプロジェクト」について書いています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,28</u>	「体育祭」の改革と、修学旅行発表会のお知らせについて書いています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,29</u>	2025 年度 Unit 1 の各教科総括的評価課題の概要について紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,30</u>	「目指す生徒像」について書いています。